

## 第16回 全国大会・研究発表大会 大会奨励賞 受賞記

慶應義塾大学大学院 高野拓海

この度は大会奨励賞という形で研究発表を評価していただき、大変光栄に思います。これまで私の研究を支えてくださった森田武史准教授と山口高平教授をはじめ、学会ご関係者及び大会参加者の皆様、実験に協力して頂いた事務の方々に、心から感謝申し上げます。

今回発表させていただいた「BRMS と Web サービスの連携による間接業務の自動化」は、事務作業の一つである申請書作成を自動化するシステムを提案するものです。詳細には、経路検索 Web サービスで得た情報から、BRMS を用いて業務ルールを適用した計算を行うシステムとなっています。

近年、企業の利益に直結する直接業務に人間と時間を割くために、間接業務を効率化する動きが盛んとなっています。しかし複雑な事務作業や、属人化されている業務は未だ自動化されていないものが多いのも事実です。今回、本大学の事務の方々からヒアリングする機会がありましたが、熟年の方は知っている業務ルールであっても若手の方は知らないものがあったり、マニュアルに記載されている基準が曖昧なものもあったりと、事務作業といっても多くの苦労があり、一括りに自動化をする事が困難であることを学びました。

本研究では申請書作成という限定された業務における自動化について取り上げ、BRMS と Web サービスを連携することでこれらの業務に対して向き合いましたが、更に自動化する業務の範囲を広げるには、RPA によるルーティンワークの自動化や、ディープラーニングによる曖昧な基準の業務ルールに対する適応など様々な技術を連携させる事が必要だと考えております。

今後、自動化を求められる業務はより増えていくことが想定されます。この分野の研究がさらなる発展をすることで事務作業が削減し、直接業務の価値が上がることで、社会全体の生産性が高まっていく事を願って本受賞期を締めくくらせていただきます。